

GSC020-P02

会場:コンベンションホール

時間: 5月23日17:15-18:45

## IODP 最新研究活動を伝える－科学博物館を活用したアウトリーチ活動

### Outreach activities at the science museum - communicating IODP research

内尾 優子<sup>1\*</sup>, 佐野 貴司<sup>1</sup>, 池本誠也<sup>1</sup>, 小松孝彰<sup>1</sup>, 荒川史子<sup>1</sup>, 熊野有祐<sup>1</sup>, 阿部桜子<sup>1</sup>,  
Leslie Peart<sup>2</sup>, 吉澤 理<sup>3</sup>, 梅津 慶太<sup>4</sup>

Yuko Uchio<sup>1\*</sup>, Takashi Sano<sup>1</sup>, Seiya Ikemoto<sup>1</sup>, Takaaki Komatsu<sup>1</sup>, Fumiko Arakawa<sup>1</sup>,  
Yusuke Kumano<sup>1</sup>, Sakurako Abe<sup>1</sup>, Leslie Peart<sup>2</sup>, Tadashi Yoshizawa<sup>3</sup>, Keita Umetsu<sup>4</sup>

<sup>1</sup>国立科学博物館, <sup>2</sup>Deep Earth Academy, Ocean Leadership, <sup>3</sup>海洋研究開発機構 地球深部探査センター,  
<sup>4</sup>地球科学技術総合推進機構

<sup>1</sup>National Museum of Nature and Science, <sup>2</sup>Deep Earth Academy, Ocean Leadership, <sup>3</sup>CDEX, JAMSTEC, <sup>4</sup>AESTO

科学系博物館は、一般国民へ様々な科学的内容を紹介する場として大変効果的である。最先端の科学内容を分かりやすくかつ、様々な広い範囲の方に伝えることが可能であり、科学博物館の使命の一つでもある。

統合国際深海掘削計画 (Integrated Ocean Drilling Program: IODP) では海洋科学掘削船を用いて深海底を掘削することにより、地球環境変動や固体地球内部ダイナミクス、さらには地下生命圏の解明を目指した研究が行われている。研究活動内容を一般国民に分かりやすく紹介し、内容自体に興味・関心をもってもらうことは、研究を推進していく上で大変重要であるといえる。これまでも生涯学習施設や教育現場と結びつくなど、様々な形でアウトリーチ活動が進められているが、2009年9月から11月の2ヶ月間のジョイデス・レゾリューション号IODP第324次航海において、日本で最も大きな科学系博物館である国立科学博物館と連携して、効果的なアウトリーチ活動を目指した。

統合国際深海掘削計画アウトリーチ：深海底研究最前線「地球をほる？－ジョイデス・レゾリューション号の地球を知る旅324－」と題して、国立科学博物館、日本地球掘削科学コンソーシアム (J-DESC)、統合国際深海掘削計画アメリカ実施期間 (IODP-USIO) 及び、海洋研究開発機構 (JAMSTEC) が共同し、展示及びイベントを開催した。

1) 企画展示：IODPの意義と研究内容、科学掘削船を紹介する展示、今回の航海の説明と参加者紹介を行うパネル展示。2) 一週間に1度の頻度で船上からの生中継を国立科学博物館展示室へ実施。さらに、中継の終了後、研究者等による関連内容ミニトークを実施。3) ホームページを使用した船上レポート：船上での掘削・研究・生活の様子を一般向けに毎日レポート。4) IODPや展示紹介パンフレットの作成、5) 研究関連内容の常設展示を活用した館内ビンゴゲームの実施、6) ジョイデス・レゾリューション (JR) 横浜寄港時の見学会、これらの6つを行った。

これらの一連のアウトリーチ活動の内容及び、現在得られている活動の効果についてまとめ、今後の活動の発展への参考となるよう詳細を報告する。

キーワード: IODP, 科学系博物館, アウトリーチ活動, 展示, イベント

Keywords: IODP, Science Museum, Outreach activities, exhibition, programs